

修了生の活躍事例

技術を身に付けて 自分に自信をつけたいと思いました

前職は、派遣やアルバイトでコンビニや映画館のスタッフとして働いていました。ハローワークへ行った際に、ポスターやチラシを見てポリテクセンターを知り、正規雇用の経験がなかったため、何か技術を身に付けて自信をつけたいと思いました。昔からインテリアなどを見るのが好きだったため、その関連の建築CAD・リフォーム計画科を希望しました。設備や支援の制度が整っていて、講師の方や受講生の人柄もよく、大変快適に過ごすことができました。訓練で理解できない時はいつも講師の方や周りの方が助けてくださいました。

共力株式会社 共力ハウス

Hさん（20代）

[⇒ 前職：接客業（非正規）]
建築CAD・リフォーム計画科
（6か月訓練）

令和3年11月 入所
令和4年 4月 修了



迷っている方は思い切って挑戦して欲しい

私は全くの未経験で受講し、向いてないと思ったこともあります。現在その職種で楽しく働いています。パソコンの操作や計算など、それぞれ苦手なこともあるかもしれませんが、講師の方が丁寧にサポートしていただけますので、ぜひ挑戦してほしいと思います。



インテリアコーディネーターの資格取得に挑戦したいです！

仕事をしていて楽しかったことは、実際に完成したお家に入って 社内 で検査する時間です。辛かったことは、分からないことだらけで 不安が大きかったことです。知識不足は今でもそうですが、日々勉強だと思って 頑張っています。まだ新人なので、先輩コーディネーターについて 打合せに入っていますが、一人前になって 専属のお客様にご満足いただけるお家を引き渡すことが一つの目標です。また 来年は、インテリアコーディネーターの資格取得に挑戦したいです。

就職先企業での活躍

Hさんの業務

家づくりのコーディネーターを担当しています。ご契約いただいたお客様と打合せを重ね、家の設備や内観・外観の仕様を決定する役割です。また、主にお引渡しまでのサポートをします。



採用者の声 取締役管理部長 古川様

家を作るという仕事は、かなり広範囲に及ぶ知識・技術・技能が必要な仕事で、Hさんはそれらの要素を習得しており、そのセンスをお持ちであると感じています。ポリテクセンター修了者は、建築に関する基礎的な知識は習得されているので、社内における教育訓練はその実践を主とし、経験を積むところからスタートできるので、本当にありがたいです。



共力株式会社 共力ハウス（福島県いわき市）

現在 ポリテクの修了生4名が活躍

はじめは誰もわからないところからスタートします。それでもその仕事・家づくりを継続しやり続けていくためには、家づくりに関するノウハウなどよりもまずは「その仕事・家づくりが好きだ！」という気持ちが なにより大切だと思っています。

「いわきで共に生きてゆく家族に 幸せと安らぎの住まいを提供し続ける」

これは私たちが一番大切にしている言葉です。お客様が家づくりで手にする「家」とは、住宅という商品ではなく 暖かい生活や大切な思い出、そこでしか味わうことができない幸せや安らぎ、それらをずっと包み込む 信頼と安心そのものであるべきと考え、お客様の夢をカタチにするお手伝いをさせていただいています。

